



# 感染症トピックス

## RSウイルス感染症について



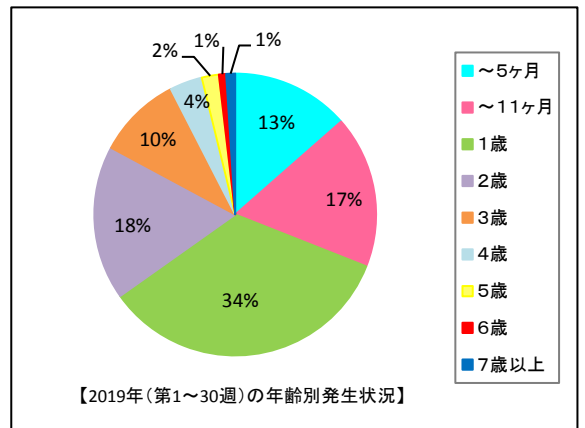
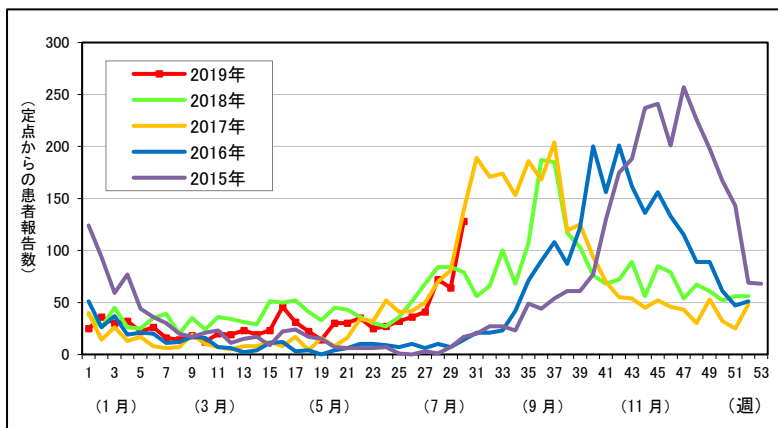
### ■ RSウイルス感染症とは？

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症であり、主な症状は鼻汁・咳・発熱ですが、重症化すると細気管支炎・肺炎などを引き起こすことがあります。発症の中心は0歳児と1歳児ですが、特に生後数週間～数ヶ月の時期に感染すると、重篤な症状を引き起こしやすくなるため注意が必要です。

終生免疫は獲得されないため、生涯にわたって感染を繰り返します。年長児や成人における再感染は普遍的に見られますが、多くが軽症です。

患者の咳やくしゃみによる飛沫感染、手指や器物（ドアノブ、手すり、スイッチ、机、椅子、おもちゃ、コップ等）を介した接触感染により感染します。

### ■ 福島県内の発生状況



2019年第30週（7月22日～28日）現在、県内の小児科定点（50機関）からの患者報告数は128人（1定点当たり患者報告数は2.56人）です。例年、秋～冬期に流行していましたが、近年は流行時期が早まる傾向が見られます。また、年齢別割合では、1歳以下が全体の約6割を占めています。

### ■ 予防のポイント

- (1) 流水・石鹸による手洗い又はアルコール製剤による手指衛生の励行を行きましょう。
- (2) 子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒しましょう。
- (3) 咳エチケットを心掛けましょう。



※ 関連・参照情報ホームページ

[厚生労働省へのリンク](#)

[国立感染症研究所へのリンク](#)